

卒業生就職先アンケート

1. 目的

今年度本学卒業生が就職した企業に対してアンケートを実施し、その結果を分析することで、企業が求める人材像と本学学生の実態との乖離状況を浮き彫りにする。それをもとに本学の課題を的確に把握し、キャリア支援体制の構築につなげていく。具体的には、教育内容の充実や就職支援の取組に反映させることで、就職内定率の向上をめざすとともにミスマッチによる早期離職に歯止めをかけたい。

また、アンケート結果を学生や教職員に開示し、学内全体の意識改革を進める。

さらに、これらの取組の成果を対外的にアピールすることで、大学の評価を高め、学生募集に役立てる。

2. 方法

昨年度卒業生の就職先企業に対し、企業の求める人材像について、郵送によりアンケート調査を実施する。

3. 対象

山口芸術短期大学令和3年3月卒業生のうち、一般企業に就職し、11月時点で在籍が確認された者（22名）

県内 18 社、県外 1 社 計 19 社

4. 実施期間

2021年11月

5. 回答企業 18 社（21 名）

小売業 9、複合サービス業 2、運輸業 2、医療業 2、建設業 2、情報通信業 1

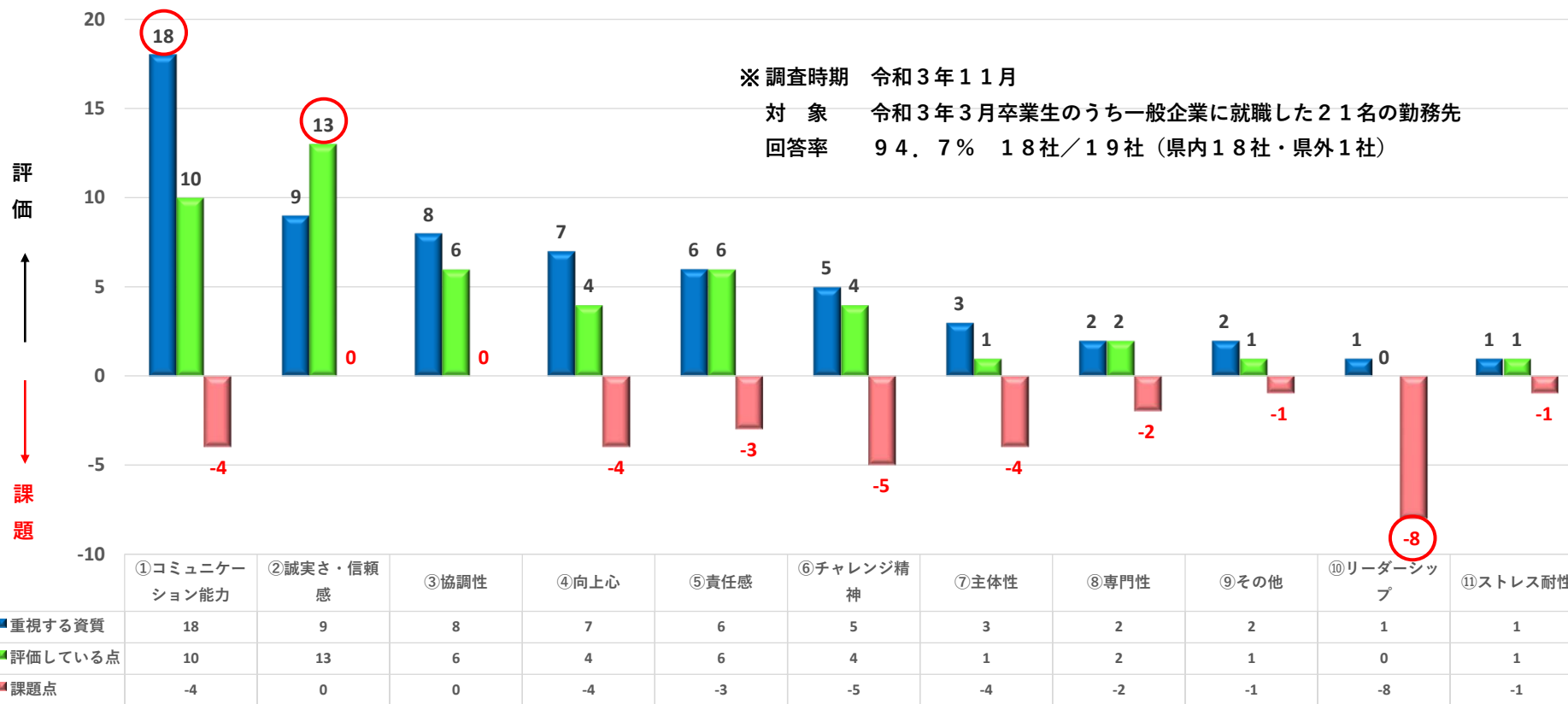
飲食サービス業 1、農業 1、サービス業 1

山口芸術短期大学 卒業生就職先アンケート

※ 調査時期 令和3年11月

対象 令和3年3月卒業生のうち一般企業に就職した21名の勤務先

回答率 94.7% 18社/19社 (県内18社・県外1社)



- 採用する際の重視項目として、全18社が「コミュニケーション能力」を挙げ、「誠実さ・信頼感」、「協調性」が続く。
 - 仕事ぶりでも、採用時に重視される「誠実さ・信頼感」、「コミュニケーション能力」、「協調性」が評価を得ている。
 - その一方で、課題として「リーダーシップ」、「チャレンジ精神」、「コミュニケーション能力」、「主体性」が指摘されている。
 - つまり、誠実で信頼できるが、比較のおとなしく自ら考え動くことが少ない「指示待ち人間」の傾向が強いとの評価が読み取れる。
- 今後は、「コミュニケーション能力」はもとより、社会人基礎力の「考え抜く力（シンキング）」と「前に踏み出す力（アクション）」を養うキャリア教育の充実が必要である。

保育職就職先アンケート結果

保育学科幼児教育コース

保育に対する社会的な関心と保育者の役割への期待の高まりを踏まえ、保育者養成に係る学修成果を確実に定着させ質の高い保育者を養成するために、就職後の実態把握調査を実施しています。

実施	令和3年12月
対象	令和3年4月県内就職者65名 および就職先<幼稚園、保育園(所)、認定こども園、施設>50カ所
回収率	就職者70.8% 就職先72.0%

質問項目

○態度・志向性

*主体的に学び続ける意欲(社会で生きていくための基本的な態度を身につけ、地域社会に貢献する意欲をもっている)

*協調的な生活態度(学び続ける意欲をもって主体的に考え行動し、他者と協調して生活することができる)

○汎用的能力

*教養(社会生活に必要な能力を身につけ、状況に応じて活用できる)

*豊かな感性と表現力(豊かな感性と表現力、教養を身につけ、高い倫理観や広い見識をもって、物事に取り組むことができる)

○専門的知識・技能

*保育の計画力(専攻する専門分野における基礎的な知識・技能を修得している)

*保育の指導力(保育現場での実践に生かすことができる専門的知識や技能を身につけている)

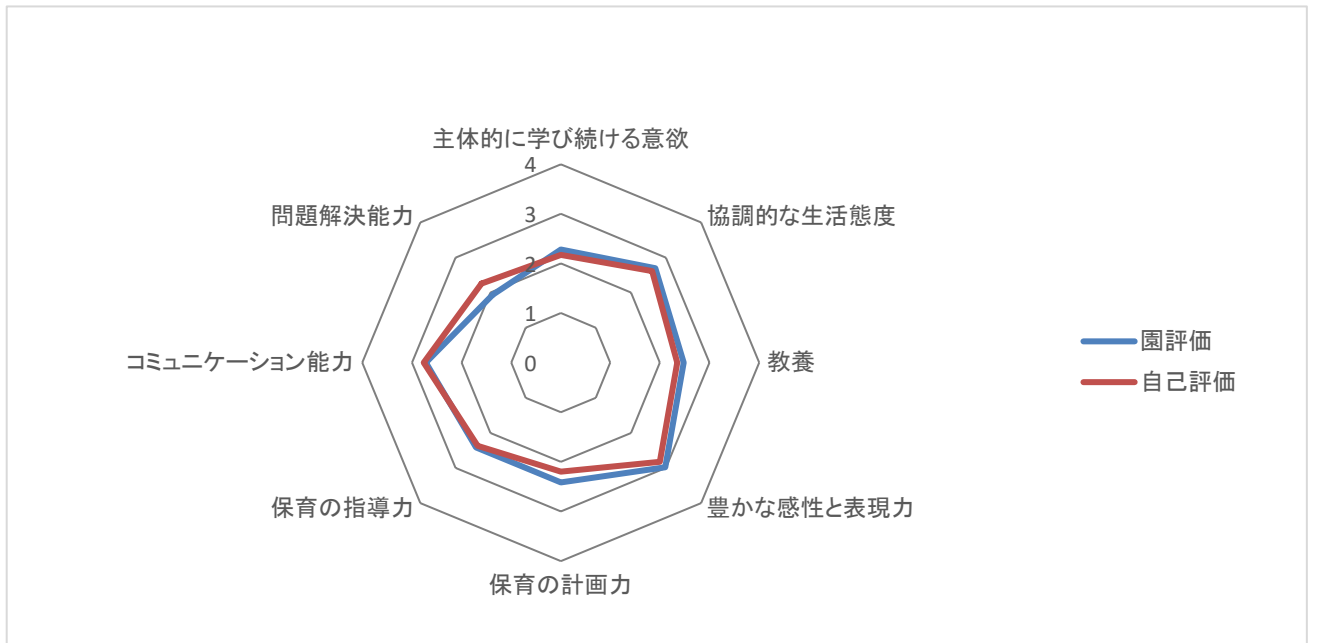
○総合的な学習経験と創造的思考力

*コミュニケーション能力(他者と円滑にコミュニケーションを図りながら、保育実践上の課題を創造的に解決することができる)

*問題解決能力(修得した知識・技能等を総合的に活用し、直面する課題にそれらを適用して解決することができる)

2020年度卒生(2019年度生)ベンチマーク集計グラフ【全体:園評価・自己評価】

※0~4までの5段階評価



2020年度卒生(2019年度生)ベンチマーク集計グラフ【就職先比較:園評価】

※0~4までの5段階評価

